

対訳

- Act -1 [HTML](#) [PDF](#)
- Act -2 [HTML](#) [PDF](#)
- Act -3 [HTML](#) [PDF](#)

- Act -1 [HTML](#) [PDF](#)
- Act -2 [HTML](#) [PDF](#)

- Act -1 [HTML](#) [PDF](#)
- Act -2 [HTML](#) [PDF](#)



資料

- [あらすじ@オペラマニア!](#)
- [スコア@IMSLP](#)
- [ジャズから見た「トリスタン」和声](#)

オペラ配役プロジェクト

- [トリスタン歌手一覧](#)
- [イゾルデ歌手一覧](#)

イゾルデの愛の死（動画対訳）

[大画面はこちら](#)
[この動画について@広報室](#)

[PR] [Amazon.co.jp](#)

オペラへのプロローグ

- このプロローグは、私がこの作品を訳しながら、数ある「回想のセリフ」から想像を膨らませて、「オペラ」としての『トリスタンとイゾルデ』の前史を再構成したものです。したがって、ワーグナーが主に準拠している12世紀ドイツの詩人ゴットフリートの叙事詩、また、19世紀末のフランス人ベディエの『トリスタン・イズー物語』、さらにアーサー王伝説群などを参考にしつつも、あくまで独自の解釈をしています。

[プロローグを読む](#)


訳者より

- イゾルデの「愛の死」=今回、この部分を最初に訳出したのですが、そのきっかけはYouTubeで、アストリッド・ヴァルナイの歌う「愛の死」（50年も前の録音ですが・・・）を初めて聴いたことにあります。私の愛聴する「トリスタンとイゾルデ」のCDは、フルトヴェングラー・フラグスタート盤でして、これはもちろん素晴らしいのですが、イゾルデを歌うのを聴いたことがなかったヴァルナイの「愛の死」にも感動しました。そのため、繰り返し聴くうちに訳してみようと思ったわけです。下から5行目のAll（もともと「宇

宙」の意味があります)を「宇宙のすべて」と表現しましたが、ここは、まさに宇宙がイゾルデという巫女を通じて我々に語りかけているように思えてなりません。

[訳者より 続きを読む](#)

ワーグナー聴けば聴くほど

 「トリスタンとイゾルデ」訳者のブログです

- [ガーディナー「ドイツ・レクイエム」\(2012-03-11\)](#)
- [ワーグナー\(2\)～パルジファル\(2012-01-21\)](#)
- [ワーグナー\(2012-01-14\)](#)

[「トリスタンとイゾルデ」記事を読む](#)

Blogs on トリスタンとイゾルデ

- [3月に観た映画](#)
- [ウィーン国立バレエ団『ウィンナー・ガラ』\(4/25\)～観劇メモ](#)
- [今日届いたCD・本・チケット Arturo Sandoval / Dear Diz \(...](#)
- [12-05 No.7-1](#)
- [東京都世田谷区の評判 山本クリニックの毎日の日記帳平 ...](#)
- [ワーグナー「タンホイザー」](#)
- [EUフィルムデーズ2012、メランコリア](#)
- [東京春祭ワーグナー・シリーズvol.3 《タンホイザー》](#)
- [マーガレット・ブライスという英国のソプラノ歌手](#)
- [12-05 No.21-3](#)

[ブログをもっと読む](#)

トリスタンとイゾルデとは

- トリスタンとイゾルデの47%は成功の鍵で出来ています。
- トリスタンとイゾルデの41%は鍛錬で出来ています。
- トリスタンとイゾルデの6%は砂糖で出来ています。
- トリスタンとイゾルデの5%は度胸で出来ています。
- トリスタンとイゾルデの1%はやらしさで出来ています。

